

第45回 全日本聾教育研究大会
(長岡大会)

開 催 要 項

全 日 本 聾 教 育 研 究 会
北 陸 地 区 聾 教 育 研 究 会
全日本聾教育研究大会(長岡大会)実行委員会

平成23年10月12日(水)～10月14日(金)

第45回全日本聾教育研究大会（長岡大会）開催要項

- 1 大会名称 第45回全日本聾教育研究大会（長岡大会）
- 2 大会主題 「生き生きと学び、考える、心豊かな子どもに育てよう」
～聴覚障害教育の専門性の継承・共有・発展～

【設定理由】

近年、聴覚障害教育を取り巻く教育制度や教育環境は大きく変化しています。平成19年4月に施行された学校教育法の一部改正では、従来の特殊教育から特別支援教育への転換が図られました。これまで聴覚障害教育の中核を担ってきた聾学校は幼児児童生徒数の減少や障害の重度・重複化、多様化が進み、複数の障害種に対応する特別支援学校としてスタートした学校もあります。このように現在の聾学校においては、これまで以上に幅広く多様な教育的ニーズへの対応が求められています。

さらに、平成20年3月に告示された新学習指導要領では、「生きる力」を支える「確かな学力」、「豊かな心」、「健やかな体」の調和を重視するとともに、「確かな学力」については、「基礎的・基本的な知識及び技能の習得」、「知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等」、「学習意欲」の3つが重要な要素であることが示されました。このことは聾学校においても同様に実践される必要があります。

こうした中で、これからも聾学校が聴覚障害教育の中核を担っていくためには、子どもたち一人一人の教育的ニーズに対応した教育や必要な支援を行うとともに、生き生きと学び、考える、心豊かな子どもに育てる教育実践の充実が求められます。その具現化には、これまで聾学校が培ってきた専門性をベースにした取組を進めることが必要不可欠であると考えます。本大会では、専門性が最も発揮される「授業」を基に子どもたちにとっても保護者にとっても魅力ある教育実践について研究協議を深めることで、聴覚障害教育の専門性の継承・共有・発展の場としたいと考え、本主題を設定しました。

- 3 会 期 平成23年（2011年）10月12日（水）～14日（金） 3日間
- 4 会 場 新潟県立長岡聾学校 〒940-0093 新潟県長岡市水道町2丁目1番13号
TEL 0258-38-0191 FAX 0258-39-5665
長岡リリックホール 〒940-2108 新潟県長岡市千秋3丁目1356番地6
TEL 0258-29-7711 FAX 0258-29-7722
ハイブ長岡 〒940-2108 新潟県長岡市千秋3丁目315番地11
TEL 0258-27-8812 FAX 0258-27-8818
- 5 主 催 全日本聾教育研究会 北陸地区聾教育研究会
- 6 主 管 校 新潟県立長岡聾学校
- 7 協 力 校 新潟県立新潟聾学校 石川県立ろう学校 福井県立ろう学校
富山県立富山聴覚総合支援学校 富山県立高岡聴覚総合支援学校
- 8 後 援 文部科学省 新潟県教育委員会 長岡市教育委員会 全国聾学校長会
(予定) 全国特別支援学校校長会 全国聾学校教頭会 北陸地区聾学校長会
北陸地区聾学校教頭会 新潟県特別支援学校長会 全国聾学校PTA連合会
北陸地区聾学校PTA連絡協議会 全国公立学校難聴・言語障害教育研究協議会
財団法人聴覚障害者教育福祉協会 財団法人全国心身障害児福祉財団
小川再治研究協賛会

9 大会日程

月 日	時 間	内 容	会 場
10月11日(火) 〔大会前日〕	13:30～15:00 15:00～16:00 16:00～16:30	全日本聾教育研究会全理事会 大会運営委員会 授業研究分科会打合せ ※参加者 助言者・司会者・記録者・運営責任者・会場係	ホテルニュー オータニ長岡
10月12日(水) 〔大会1日目〕	8:30～	受付 公開授業・寄宿舎一般公開 ・幼稚部 ・小学部 ・中学部・高等部（専攻科を含む） ・寄宿舎一般公開 指定授業	新潟県立 長岡聾学校
	9:10～9:50 9:10～9:55 9:10～10:00 9:10～11:00	・幼稚部 ・小学部 ・中学部・高等部 ・寄宿舎一般公開	
	10:15～10:55 10:15～11:00 10:15～11:05	・幼稚部 ・小学部 ・中学部・高等部	
	11:15～13:00	移動・昼食（各分科会場）・休憩	バスで移動
	13:15～13:45 14:05～16:15 16:30～17:00	開会式 授業研究分科会 研究協議分科会打合せ ※参加者 助言者・司会者・記録者・運営責任者・会場係	長岡リリックホール ハイブ長岡
10月13日(木) 〔大会2日目〕	9:00～ 9:30～12:00 12:00～13:00 13:00～16:30	受付 研究協議分科会 昼食 研究協議分科会	ハイブ長岡、長岡リ リックホール
10月14日(金) 〔大会3日目〕	9:00～ 9:30～11:00 11:00～11:30	受付 記念講演 閉会式	長岡リリックホール

10 記念講演

演題 「聴覚障害児の学力の基礎を築く言語発達とその支援」

講師 筑波大学障害科学系 教授 廣田 栄子 氏

11 設定分科会

(1) 授業研究分科会

分科会名	研究テーマ	助言者
幼 稚 部	生き生きと表現し、伝え合う力を育てる 授業をめざして	上越教育大学大学院特別支援教育コ ース 教授 我妻 敏博 氏
小 学 部	自分の思いや考えを生き生きと表現し、 伝え合う授業をめざして	金沢大学人間社会研究域学校教育系 准教授 武居 渡 氏
中 学 部	意欲をもって学び、よく考え、自ら判断 する力を高める授業をめざして	筑波技術大学障害者高等教育研究支 援センター 准教授 長南 浩人 氏

高等部	自らの興味・関心に気づき、意欲的に学び考える授業をめざして	筑波技術大学障害者高等教育研究支援センター 教授 石原 保志 氏
寄宿舎	主体的に生きる力と社会性を身につけるための支援をめざして	長岡市学校教育課教育センター 指導主事(前長岡豊学校長)佐藤 仁氏

(2) 研究協議分科会

分科会名	協議主題 主題設定の理由	助言者 運営担当校
早期教育Ⅰ (乳幼児教育)	<p>乳幼児が人を信頼し、主体的に環境とかかわり、発達していくための早期教育について考える。</p> <p>乳幼児期は、環境との相互作用の中で発達が促されていく。最も重要なものは人との相互作用による関係づくりである。特に、乳幼児期は保護者との関係によって、信頼感や主体性が形成され、一層発達が促される。</p> <p>しかし、近年ではその関係づくりが十分行われる前に聴覚障害が発見されるようになり、親子関係について支援を必要とするケースが増えている。そこで、安定した関係を築き、望ましい発達を促すための支援について研究する。</p>	<p>筑波技術大学 障害者高等教育研究支援センター 障害者基礎教育研究部 教授 佐藤 正幸 氏</p> <p>富山県立高岡聴覚総合支援学校</p>
早期教育Ⅱ (幼稚園教育)	<p>幼児一人一人が心豊かに育ち、生き生きと活動できる支援の在り方について考える。</p> <p>幼児は自分をとりまく人や物、自然にかかわる中で、心を動かしながら、コミュニケーションの基礎づくりをし、言葉の習得、表現力、思考力、想像力、社会性などの力を高めていく。そのためには、それぞれをとりまく環境の中で、気づき、感じて、自ら環境にかかわって主体的に活動する力を身につけることが必要である。</p> <p>そこで、様々な経験を通して、心豊かに育ち、生き生きと活動するための支援の在り方について研究する。</p>	<p>筑波大学附属聴覚特別支援学校 教諭 両角 五十夫 氏</p> <p>富山県立富山聴覚総合支援学校</p>
寄宿舎	<p>社会自立に向けた豊かな人間性と社会性を育てる寄宿舎教育について考える。</p> <p>寄宿舎は、集団生活を営む中でルールやマナーなどを学び、自立に向けた生活力や自主性を身につけることができる貴重な場となっている。その中で子どもたちの人間性や社会性を養い、豊かにコミュニケーションできる力を培うことは、重要な課題の1つである。</p> <p>そこで、子どもたちが、他者の気持ちを理解し、豊かなコミュニケーションを図るとともに、主体的に活動し、充実した寄宿舎生活を築くための支援の在り方について研究する。</p>	<p>長岡市学校教育課教育センター指導主事 (前長岡豊学校長) 佐藤 仁 氏</p> <p>福井県立ろう学校</p>
自立活動Ⅰ (聴能・補償工学・人工内耳)	<p>補聴機器や情報機器を効果的に活用し、幼児児童生徒が主体的に情報を獲得し、生かす力を育てるための教育について考える。</p> <p>近年の電子工学や医学、教育の進歩により、聴覚的な情報を取り入れる手段や機器が幅広く多様になってきており、それらの効果的な活用が課題である。</p>	<p>新潟医療福祉大学医療技術学部言語聴覚学科 准教授 山口 富一 氏</p> <p>新潟県立新潟豊学校</p>

	聴覚障害のある子どもがそれらを活用し、生活の中で主体的に情報を獲得し、生かす力を育てる教育の在り方について研究する。	
自立活動Ⅱ (言語、発音、発語、コミュニケーション)	<p>主体的に生きる力を育てるための、幼小中高をとおした計画的、且つ、個の実態に応じた言語指導の在り方について考える。</p> <p>聴覚障害のある幼児児童生徒が主体的に生きるためには、幼児のあそびの段階から高等部生徒が社会に出るまで、それぞれの年齢に応じたコミュニケーションや言語の力の習得が重要な課題となってくる。</p> <p>言語の力を着実に身につけるためには、どう支援すればよいのか。事例を基に具体的な支援の在り方について研究する。</p>	<p>金沢大学人間社会研究域学校教育系 准教授 武居 渡 氏</p> <p>石川県立ろう学校</p>
確かな学力、学力向上 (教科指導)	<p>子どもたちが意欲的に学び、課題解決に必要な基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得するための授業づくりについて考える。</p> <p>新学習指導要領では「確かな学力」に重点がおかれ、基礎的・基本的な知識及び技能を習得し、それらを活用し、自ら探求する力が求められている。</p> <p>そこで、「確かな学力」を授業において獲得させるために、聴覚障害のある児童生徒の学習上の特性を踏まえた指導法、授業展開、授業評価等について研究する。</p>	<p>筑波技術大学障害者高等教育研究支援センター 准教授 長南 浩人 氏</p> <p>新潟県立新潟聾学校</p>
地域支援、センター的役割	<p>社会の変化や多様なニーズに対応する聾学校のセンター的役割の在り方について考える。</p> <p>特別支援教育制度の下、聾学校は、在籍の児童生徒だけでなく、通級指導やサテライト教室、教育相談などで地域の聴覚障害児の支援、教員支援、保護者支援等を行い、地域のセンター的役割を担っている。</p> <p>聴覚障害のあるすべての子どもたちの自立や社会参加に向けた活動を支援するという視点に立ち、多様なニーズに柔軟に対応していく専門性をいかに継承・発展させ、よりきめこまやかな地域支援を進めていくにはどうしたらよいかについて研究する。</p>	<p>大阪市立聴覚特別支援学校 教諭 中瀬 浩一 氏</p> <p>福井県立ろう学校</p>
進路、キャリア、生涯教育	<p>社会の一員として自覚をもち、豊かな社会生活を送るための力や態度を育てる支援について考える。</p> <p>社会構造が激変し、人々の価値観も多様化する中で、キャリア教育やアフターケアを含めた進路指導、生涯学習の重要性が叫ばれている。そこで聴覚障害のある生徒が自己の理解を深め、自己実現を目指し、家庭や職場、地域の一員として、良好な人間関係を築き、心豊かに社会生活を送るために必要な力や態度を育成する支援の在り方について研究する。</p>	<p>東海医療科学専門学校 教学部長 市橋 詮司 氏</p> <p>富山県立富山聴覚総合支援学校</p>
総合的諸問題 (障害認識、生活・生徒指導、重複障害)	<p>聴覚障害教育における障害の認識や重複障害児への教育等の諸問題を取り上げ、その適切な指導・支援について考える。</p> <p>特別支援教育制度が始まり、聾学校では、幼</p>	<p>国立特別支援教育総合研究所企画部 総括研究員 藤本 裕人 氏</p>

	児童生徒数の減少や障害の重度・重複化、多様化が進んできている。 聴覚障害教育における障害認識を深める実践や生活指導・生徒指導、重複障害児への教育等の実践を通し、一人一人の障害の特性に応じた指導・支援の在り方について研究する。	石川県立ろう学校
--	---	----------

1.2 開会式次第

- (1) 開会の辞 全日本聾教育研究会副会長
- (2) 挨拶 全日本聾教育研究会会長
長岡大会実行委員長（北陸地区聾教育研究会会長）
- (3) 祝辞（予定） 文部科学省初等中等教育局特別支援教育課特別支援教育調査官
新潟県教育委員会教育長
全国公立学校難聴・言語障害教育研究協議会会長
- (4) 来賓紹介 北陸地区聾教育研究会副会長
- (5) 閉会の辞 全日本聾教育研究会副会長
- (6) 諸連絡 大会事務局

1.3 閉会式次第

- (1) 開会の辞 全日本聾教育研究会副会長
- (2) 挨拶 全日本聾教育研究会会長
長岡大会実行委員長（北陸地区聾教育研究会会長）
全日本聾教育研究会副会長（次期主管校校長）
- (3) 閉会の辞 全日本聾教育研究会副会長

1.4 大会参加費 会員 4,000円 会員外 5,500円

1.5 研究集録 1部 4,000円（研究集録・事後集録代及び送料を含む）

1.6 大会参加・研究集録等の申し込み

- (1) 大会参加・研究集録の申し込み
 - ・申込期限：平成23年6月 3日（金）
 - ・申込先：全日聾研長岡大会事務局（新潟県立長岡聾学校内）
 - ・別紙「第45回全日本聾教育研究大会（長岡大会）参加申込書」様式に必要事項をご記入の上、長岡大会事務局宛に電子メール（zennitirouken@nagaokarou.nein.ed.jp）に添付してお申し込みください。なおその際は、添付ファイル名を学校（機関・所属）名参加申込にかえて送信をお願いします。長岡聾学校ホームページ（<http://www.nagaokarou.nein.ed.jp/>）より、「第45回全日本聾教育研究大会（長岡大会）参加申込書」（Excelファイル）をダウンロードできます。
 - ・大会通信第3号（9月上旬発送予定）に、「参加確認書」、「修正・変更申込書」を同封します。
 - ・もし、「参加確認書」の内容に変更・修正等があった場合は、「修正・変更申込書」に提出していただきます。「修正・変更申込書」の提出期限後は、参加費、集録代の返金はいたしかねますので、予めご了承ください。「修正・変更申込書」の提出期限は、大会通信第3号で改めてお知らせします。
 - ・申込をいただきました個人情報に関しましては、大会運営にかかわる目的、新潟県及び長岡コンベンション協会等の助成金申請にかかわる目的以外での利用は行いません。
- (2) 宿泊・昼食・送迎バスの申し込み
 - ・申込期限：平成23年6月17日（金）
 - ・申込先：日本旅行燕三条教育旅行支店
 - ・同封の「宿泊・昼食・送迎バス申込書」に必要事項をご記入の上、旅行者（日本旅行燕三条教育旅行支店）にFAX、メールまたは郵送でお申し込みください。
 - ・送迎バスは、1日単位の申込となっております。1区間または片道だけの料金設定はありません。

ん。長岡大会の会場移動については、すべて貸切バスとなりますので、ご注意ください。
長岡駅前からの乗車場所、時間については、大会通信第3号で詳しくお知らせします。

- ・昼食は、大会1日目と2日目の昼の分（お弁当）について、申込分を手配します。
- ・7月15日（金）までに旅行者（日本旅行燕三条教育旅行支店）より「予約確認書」と「請求書」が送付されます。
- ・詳細は別紙「宿泊プラン・弁当手配」のご案内をご参照ください。
- ・長岡聾学校ホームページ(<http://www.nagaokarou.nein.ed.jp/>)より、「宿泊プラン・弁当手配のご案内」と「宿泊・昼食・送迎バス申込書」をダウンロードできます。

1.7 研究発表の申し込み・研究発表原稿の提出

(1) 研究発表の申込

- ・申込期限：平成23年6月10日（金）
- ・申込先：長岡大会研究集録係（新潟県立長岡聾学校内）
- ・研究発表を希望される方は、「第45回全日本聾教育研究大会（長岡大会）研究発表申込書」に必要な事項をご記入の上、長岡大会事務局宛にお申し込みください。
- ・申込は原則として電子メールに添付してご送付ください。なお、添付ファイルの容量制限(2MB)がありますので、ご注意ください。
- ・詳細は、別紙「研究集録掲載用 原稿執筆要項」をご参照ください。
- ・長岡聾学校ホームページ(<http://www.nagaokarou.nein.ed.jp/>)より、「第45回全日本聾教育研究大会（長岡大会）研究発表申込書」（Word 様式、一太郎様式）でダウンロードできます。

(2) 研究発表原稿の提出

- ・提出期限：平成23年7月 8日（金）
- ・提出先：長岡大会研究集録係（新潟県立長岡聾学校内）
- ・「写真入り原稿」と「写真なし原稿」では送付方法が異なります。詳しくは「研究集録掲載用 原稿執筆要項」をご確認の上、ご送付ください。原稿執筆要項に合わない原稿は、返信して修正をお願いすることがありますので、ご承知おきください。
- ・長岡聾学校ホームページ(<http://www.nagaokarou.nein.ed.jp/>)より、原稿様式（Word 様式、一太郎様式）をダウンロードできます。

1.8 諸費用の納入

(1) 大会参加費・研究集録費の納入

- ・振込期限：平成23年7月29日（金）
- ・振込先：

銀行名	北越銀行 本店営業部
口座番号	普通 2002373
口座名義	第45回全日本聾教育研究大会長岡大会 実行委員長 横田敏盛

(2) 宿泊費、昼食代、バス代の納入

- ・振込期限：平成23年8月 5日（金）
- ・振込先：

銀行名	みずほコーポレート銀行十五号支店
口座番号	普通 3103594
口座名	株式会社日本旅行

※振込手数料は、振込者側のご負担でお願いします。

※諸費用を振り込む際は、振込者側の学校・機関名が分かるような記載でお振り込みくださいますようお願いいたします。

1.9 販売・展示

- ・展示や販売を希望される業者、団体等は、大会事務局にご連絡ください。
- ・ただし、展示スペースの関係でご希望に添えない場合もありますので、ご承知おきください。
- ・申込期限：平成23年6月30日（木）

2.0 大会通信第3号について

- ・ 発 送 : 9月上旬発送予定
- ・ 内 容 : 参加確認書、修正・変更申込書、開催要項、参加者数、公開・指定授業一覧、研究発表分科会発表一覧、交通機関の案内等

2.1 大会ホームページ

- ・ 長岡聾学校ホームページ (<http://www.nagaokarou.nein.ed.jp/>) から、大会用のページをご覧ください。
- ・ いろいろな提出書類について、要項や様式をダウンロードできるようになっています。電子データとしてメールに添付する場合は必ず、この様式で送付してください。

2.2 メール送信について

- ・ 申込や原稿等を電子メールに添付して送信される際には、提出書類が添付されていることを必ずご確認の上、送信してください。
- ・ 申込や原稿等を電子メールに添付して送信する場合は、原則として、圧縮やパスワードをかけないで送信してくださいますようお願いいたします。
- ・ やむを得ずパスワードをかけてファイルを添付する場合は、必ずパスワードをお知らせいただいた上で送信をお願いします。
- ・ 大会事務局のメール受信には、添付ファイルの容量制限 (2 MB) があります。写真データなどはリサイズしてファイル容量を小さくして送信してください。

2.3 締切日、振込期限、送付先一覧

申込内容	申込・送付締切日	振込期限	申込・送付先
大会参加申込	平成 23 年 6 月 3 日 (金)	平成 23 年 7 月 29 日 (金)	新潟県立長岡聾学校 全日聾研長岡大会事務局 E-mail zennitrouken@nagaokarou.nein.ed.jp
研究集録申込			
研究発表申込	平成 23 年 6 月 10 日 (金)		新潟県立長岡聾学校 全日聾研長岡大会研究集録係 E-mail zennitrouken@nagaokarou.nein.ed.jp
研究発表原稿 締切	平成 23 年 7 月 8 日 (金)		
宿泊の斡旋	平成 23 年 6 月 17 日 (金)	平成 23 年 8 月 5 日 (金)	株式会社日本旅行燕三条教育旅行支店 〒955-0092 新潟県三条市須頃2-121 FAX 0256-35-3500 E-mail tsubame_office@nta.co.jp
昼食 (お弁当)			
移動バス (1日目～3日目)			

2.4 大会事務局及び連絡先

第45回全日本聾教育研究大会 (長岡大会) 事務局 〒940-0093 新潟県長岡市水道町2-1-13 (新潟県立長岡聾学校) TEL 0258-38-0191 FAX 0258-39-5665 E-mail zennitrouken@nagaokarou.nein.ed.jp (事務局専用アドレス) 大会実行委員長 校長 横田 敏盛 大会事務局長 教諭 金子 明生
